

カルテ閲覧

療所の医師らが閲覧できるようにもなる。

京大病院ではこれまで「日一回」だった情報提供の更新を、今後は「約1時間おきにする予定。携帯電話では画像の受信やデータの保存はできないが、病院帰りのなどに検査結果を見ることもできるようになる。写真、吉原教授提供。ネット利用が可能な携帯電話なら、どの会社の携帯からでも利用可能という。吉原教授は「パソコンを持っていない患者にも対応できるようになった。今年度中には翻訳システムもできる予定で、将来的には国際的なネットを目指したい」と話。

京大病院→まいこネット

検歴情報

作成日	2008年09月19日
作成施設	京都大学医学部附属病院
診療科	消化器内科
検査セット	千葉肝
項目	= 結果値 単位
HCT	= 42.8 %
HGB	= 14.6 g/d l
RBC	= 4.46 10 ¹² /L
MCV	= 96.0 fl
MCH	= 32.7 pg

携帯もOK

同NPO法人は07年7月、病院や診療所などが患者のデータを共有し、連携して医療にあたることなどを目指し、「医療情報サービスシステム「まいこネット」(無料)の運用を開始した。同様の他地域のネットと結んだ全国ネットの一部にもなっている。

同NPO法人の理事で、京大病院医療情報部長の吉原博幸教授によると、「まいこネット」に情報を提供しているのは現在のごとく同病院だけで、登録患者は約500人。登録するとIDとパスワードが与えられ、パソコンでカルテなどを見ることが出来る。患者が申請すれば、同ネットと連携する診

結果素早く

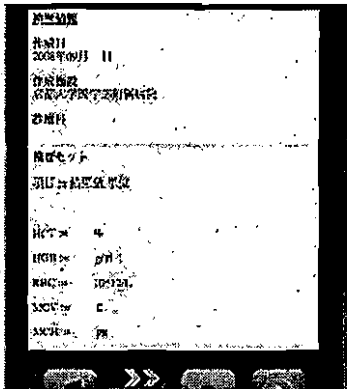
京都大医学部付属病院(左京区)など京都の病院や医療関係団体で作るNPO法人「京都地域連携医療推進協議会」(上京区)は17日、京大病院の患者がカルテや検査結果などをパソコンで閲覧できるサービスについて、今月から携帯電話でも利用できるようにしたと発表した。検査結果をいかに早く確認できるなどの利点があり、他の病院の情報も閲覧できるようサービス拡大をめざす。

朝日新聞 朝刊
2008年(平成20年)
10月18日(土)

京大病院

携帯へ医療情報

患者に処方履歴など提供



携帯電話から「まいこネット」を通して閲覧できる本人の診療データ(吉原博幸京都大教授提供)

京都大医学部付属病院(京都市左京区)は十七日、検査結果や処方履歴などの医療情報を患者本人がインターネットで閲覧できるサービスを、携帯電話向けにも提供を始めたこと発表した。インターネットに接続可能なすべての携帯電話から利用(本人のデータのみ)できる。

医療情報の提供は、京大、京都府立医科大学、府内の医療団体、医療機関が参加する地域医療情報ネットワーク「まいこネット」を通じて、京大病院の患者を対象に昨年七月から始め、約五百人が利用している。これまではパソコンからの

利用のみだったが、「携帯電話ならもっと手軽に利用できる」とのリンクエストを受け、携帯電話向けサービスを今月から始めた。

登録してパスワードを入れると、京大病院の電子カルテに記された血液検査の結果や処方などのデータを、その日の午後六時以降から閲覧できる。過去のデータも参照できるの

で、健康管理に役立てることが出来る。患者の許諾によって地域の主治医へのデータ提供もでき、より緊密な医療の連携が可能になるという。

全国的な医療情報ネットワークづくりを進める京大病院医療情報部の吉原博幸教授は「京大病院だけでなく、他の医療機関の参加も広げたい」と話している。

京都新聞 朝刊
2008年(平成20年)
10月18日(土)